触れる**歴史**
感じる**文化**
そして、見える**自分**

小樽
教育旅行
ガイドブック

2020.3 発行

発行／一般社団法人小樽観光協会

〒047-0007 北海道小樽市港町 4 番 3 号　　TEL0134-33-2510　FAX0134-23-0522　　http://www.otaru.gr.jp/

小樽
教育旅行
ガイドブック

触れる歴史 感じる文化
そして、見える自分

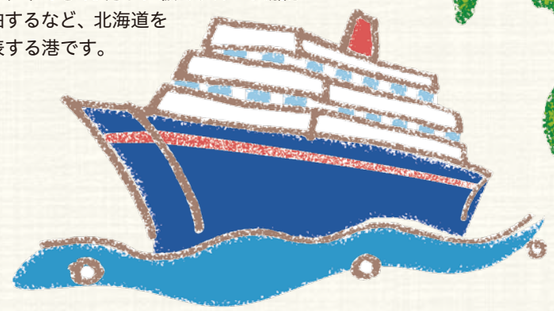
一般社団法人小樽観光協会

なぜ小樽がおすすめ？

学びの素材が抱負

北海道を代表する歴史ある港町

早くから鉄道や港が整備され、発展を遂げた小樽には、いまも街中のあちこちに当時の栄華が残っています。たとえば、北海道で最初に開通した鉄道の跡地は、散策にも最適です。石炭の積出港として栄えた小樽の港は、今でも 10 万トン級のクルーズ船が停泊するなど、北海道を代表する港です。

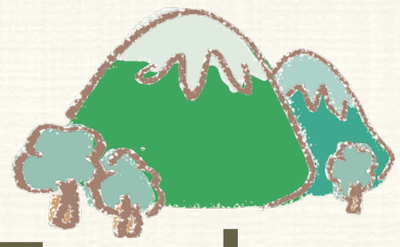


文化、歴史の薫り

国語の教科書で取り上げられる詩人の伊藤整や作家の小林多喜二は小樽の学校で学び、歌人の石川啄木は小樽で記者として活躍しました。歴史の教科書に登場する榎本武揚や澁澤栄一、永倉新八をはじめ、様々な分野で活躍した小樽にゆかりのある人物の足跡に触れることができます。

気候・風土

小樽は、北海道の中では比較的温暖な気候の地域ですが、東京に比べると平均気温は低く、季節も 1 か月ほどずれている感じです。桜の満開はゴールデンウィーク頃になり、七夕は 8 月 7 日です。夏は 30 度を超える日もありますが、お盆を過ぎると朝晩は急に涼しくなり、冬タイヤや除雪機の CM が流れ始めます。11 月下旬から 3 月までは長い冬になります。



海も！山も！

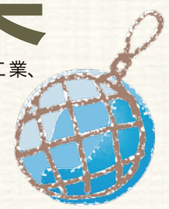
小樽は三方を山に囲まれた坂の多いまちです。もう一方は石狩湾に面し、海岸線は約 69 キロメートルに及びます。小樽港はその中央に位置し、天然の良港です。西側の勇壮な海岸は「ニセコ積丹小樽海岸国定公園」に指定されています。そのため、春は桜と新緑、夏はマリンレジャー、秋は紅葉、冬はスキーと、四季を通じて豊かな自然を満喫できます。

アクセス良好！

※距離・時間は目安です。

産業

観光業、漁業、水産加工業、金属加工業、菓子製造業、硝子製造業などが小樽の主な産業です。



小樽の概要

人口：114,082 人（2020 年 2 月末時点）　世帯数：62,985 世帯　観光入込客数：約 781 万人（2018 年度）

位置：北緯 43 度 11 分 27 秒、東経 140 度 59 分 40 秒
面積：243.83km2（平成 26 年 10 月 1 日現在）
東西 36.47km、南北 20.39km、海岸線 68.62km

○市の花：ツツジ
○市の木：シラカンバ
○市の鳥：アオバト

姉妹都市
・ナホトカ市（ロシア連邦）
・ダニーデン市（ニュージーランド）
・ソウル特別市江西区（韓国）

小樽市公式ホームページ
自然と人が紡ぐ笑顔あふれるまち
https://www.city.otaru.lg.jp/

小樽観光協会公式ホームページ
おたるぽーたる
https://otaru.gr.jp/

小樽マップ

タクシー

初乗り料金　560円

観光貸し切り運賃

初乗り　2,780円/30分
以降30分毎　2,780円加算

祝津エリア

#海　#鰊　#漁業
#漁場建築
#おたる水族館
#旧青山別邸
#茨木家中出張番屋

約15分/車

中心部エリア

手宮エリア

#小樽市総合博物館
#鉄道跡地　#手宮洞窟

色内エリア

#旧銀行街
#歴史的建造物

堺町エリア

#観光
#歴史的建造物

港

運河

約10分/車

#小樽公園
#小樽市公会堂
#能舞台

小樽 築港エリア

#ウイング ベイ小樽
#海

銭函・春香エリア

#山　#スキー場

小樽海岸 自然探勝路

長橋なえぼ公園
#バードウォッチング

からまつ公園
#歩くスキー

蘭島
塩谷
小樽
南小樽
小樽築港
朝里
銭函

約15分/車

約20分/車

天狗山エリア

#山　#散策路　#森林
#ロープウェイ
#夜景　#スキー場

朝里川温泉エリア

#山　#川　#温泉
#スキー場

余市町

赤井川村

札幌市

※2020年3月現在の情報です。運行情報等は、変更になる場合があります

小樽運河 堺町など 観光地をめぐる路線バス

運賃（1乗車）　大人240円　小人120円
小樽市内線バス1日乗車券　大人800円　小人400円
おたる散策バスの他、市内線（市内均一区間）のバスが1日乗り放題！

発券箇所　中央バス小樽駅前ターミナル、運河プラザ、バス車内 他
SAPICA・Kitaca・Suicaなど ICカードも利用いただけます。

- ⑩おたる散策バス　小樽駅前発9:40～17:40の間30分間隔で運行
  【主要停留所】小樽駅前・小樽運河ターミナル・堺町・北一硝子・メルヘン交差点
- ⑨天狗山行き　9時台～18時台の間20分間隔で運行
  【主要停留所】小樽駅前・小樽運河ターミナル・天狗山ロープウェイ
- ⑩おたる水族館行き　9時台～18時台の間60分間隔で運行
  【主要停留所】小樽駅前・小樽運河ターミナル・総合博物館・小樽貴賓館（4/1～11/30）・おたる水族館

お問い合わせ先　中央バス小樽駅前ターミナル
TEL 0134-25-3333

日本遺産

北前船

https://www.city.otaru.lg.jp/simin/gakushu_sports/nihonisan/nihonisan_tuikanintei.html

小樽の歴史

アイヌ語で「オタルナイ」（砂の中の川）と呼ばれていたことに由来します。江戸時代から、北海道の日本海側では、鰊漁が盛んでした。1865（元治 2）年、鰊漁を中心とした集落が形成され、幕府はオタルナイを「村並」とします。

1869（明治 2）年、蝦夷地が北海道と改称され、開拓使が設置されるとともに、「オタルナイ」も「小樽」と改められます。日本各地から移民が押し寄せ、人口が急増しました。
北前船は、従来の道南での交易に加え、移民の生活を支える物資を運ぶという新たな役割を担うようになり、北前船主たちは、次々と小樽に進出し、営業倉庫を設立するなど、新しいビジネスを展開します。

Check!

◎一獲千金の夢

大阪と北海道を一往復すると、千両もの利益！
今なら６千万円から１億円。

◎文化も運ぶ
◎船乗りの一生。稼ぎは？ボーナスは？
◎利益の９割を生み出す商品はニシン

検索：日本遺産　北前船

北前船って？

大阪と北海道を結んだ経済動脈

ただ荷物の運搬をしていたのではありません。寄港地で安い商品があれば買い、高く売れる港では売りさばく。それはまるで、動く総合商社でした。

- 江戸時代中期（18 世紀中頃）~ 明治 30 年代
- 大阪と北海道を日本海回り
- 商品を売り買いしながら結んでいた商船群

日本遺産って？

地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化や伝統を語る「ストーリー」が、「日本遺産」として、文化庁により認定されています。

2018（平成 30）年 5 月 24 日、北前船の日本遺産ストーリー
「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ~ 北前船寄港地・船主集落 ~」に、
小樽市も追加認定されました。

Check! 事前学習のチェックポイント

Think! 意見を出し合ってみんなで考えてみよう

小樽のニシン

鰊漁でにぎわった小樽

小樽近辺は江戸末期からニシンをはじめとする漁業でにぎわっていました。ニシンは、春告魚（はるつげうお）とも呼ばれ、春先の 2、3 カ月の漁だけで、漁師は一年間生活できたといわれています。

Check!

◎ニシンはどうやって運ばれた？

鰊は煮て油をしぼり、残ったニシン粕を発酵させて肥料にします。北前船では、これが仕入れ値の 5 倍から10倍になって売れたそうです。

北前船と小樽

北前船のおかげで、小樽は飛躍的に近代都市に向かって発展

鰊漁がさかえ、北前船主が立てた倉庫がまちの中に残り、
小樽独自の景観をつくっています。

Check!

関連施設を調べてみよう

ほかには
旧魁陽亭・住吉神社奉納物・船絵馬群・
北前船関係古写真・西川家文書があります。

Think!

◎現代でも生かせるポイントは？

北前船の業務、歴史、コンセプトから考えてみよう！

◎地域間交流は、地域振興へとつながる！

それぞれの地域の良いところを掘り下げてみよう！

お問い合わせはこちらへ
小樽市産業港湾部観光振興室 日本遺産担当
小樽市港町 4-3　TEL 0134-32-4111（内線 451）

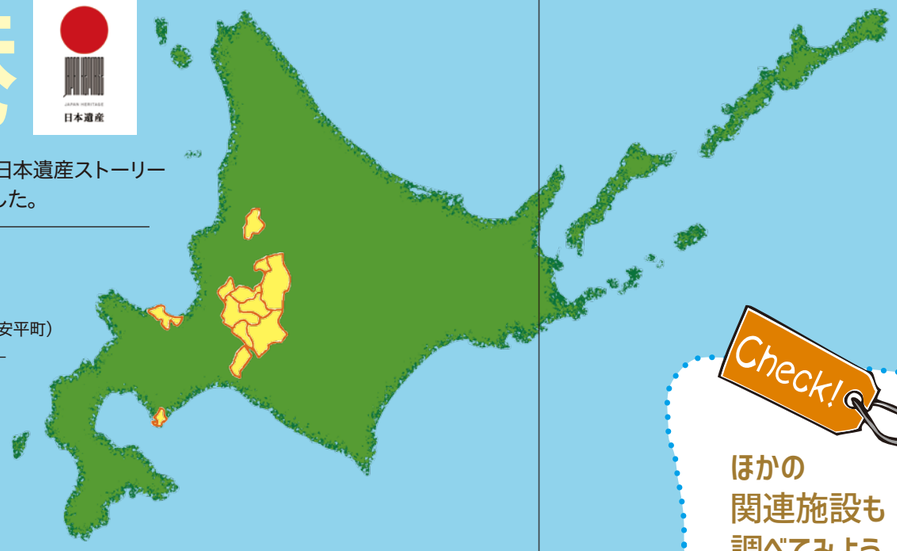
『炭鉄港』と、『小樽みなとと防波堤』

日本遺産 炭鉄港

2019（令和元）年5月20日、複数の市町村にまたがる（シリアル型）の日本遺産ストーリー『本邦国策を北海道に観よ！~北の産業革命「炭鉄港」~』が認定されました。

構成地域 北海道内12市町

小樽市、室蘭市、
空知地域（赤平市、夕張市、岩見沢市、美唄市、芦別市、三笠市、栗山町、月形町、沼田町、安平町）



成長 「石炭」・「鉄鋼」・「港湾」とそれらを繋ぐ「鉄道」

北の産業革命と言える炭鉄港は、北海道の発展に大きく貢献してきました。100km 圏内に位置するこの3地域を原動力として、北海道の人口は約100年で100倍になりました。その急成長と衰退、そして新たなチャレンジを描くダイナミックな物語は、これまでにない北海道の新しい魅力として、訪れる人に深い感慨と新たな価値観をもたらします。

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」（鹿児島市）と同じ源流を持つ“北の産業革命”

◎薩摩藩による産業革命と明治維新
そこで北海道の重要性が認識されました。

◎近代北海道の基盤
旧薩摩藩士を中心に整えられます。

Check!

◎太平洋戦争との関わり
空知の石炭や室蘭の鉄鋼を積出する小樽は、国内資源の重要な供給地としての役割を果たしました。

検索：日本遺産 炭鉄港

衰退 戦後復興とエネルギー革命 ―炭鉄港の活躍と衰退―

◎第2次世界大戦後は？
昭和 40 年代からいち早く衰退の兆しが現れた小樽。輸入原材料の調達に不利な日本海側にあったため、太平洋側にある苫小牧港との競争に破れ、商業・金融機能も次々と札幌へと移転しました。

Check!

◎空知は？ 室蘭は？

◎炭鉄港の終えんは？
日本が高度成長へとまい進する中、国策による使命を完全に終えます。

検索：日本遺産 炭鉄港

Check! 事前学習のチェックポイント

Think! 意見を出し合ってみんなで考えてみよう

北海道遺産 小樽みなとと防波堤

小樽港北防波堤

- 小樽港は、明治時代に国際貿易港に指定され、日露戦争後は南樺太の消費物資の供給地となるなど、急速に発展し、繁栄の一途をたどりました。
- 北防波堤は、「港湾工学の父」廣井勇により設計され、1908（明治41）年に完成しました。11 年もの歳月をかけ、その全長は 1280mに及びます。外国貿易の拠点となることも視野に入れ、国の威信をかけた大工事でした。100 年以上を経た今でもその機能は衰えることなく、港を荒波から守り、商都・小樽を支え続けています。

Check!

ほかの関連施設も調べてみよう

小樽中央市場

旧手宮鉄道施設

手宮線跡地及び付属施設

地域の歴史を見つめ直し、新たな価値を見出すまちづくり

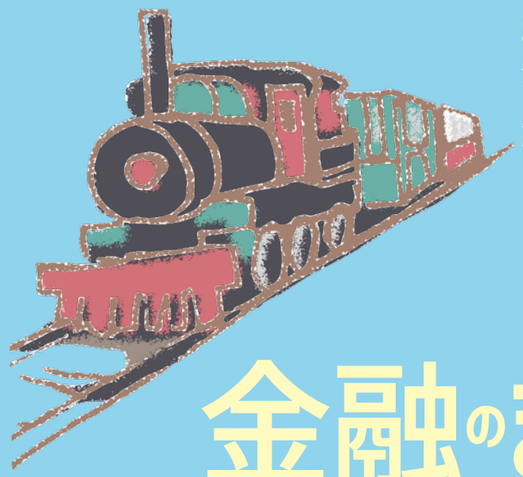
- 歴史遺産を生かした「歴史とロマンの街 小樽」として、多くの観光客が訪れています。
- 空知や室蘭でも地域の歴史や産業遺産を生かしたまちづくりが進んでいます。

Think!

◎現在の小樽の街はどんなふうに映りますか？？
◎あなたのまちと比較すると、どんなことに気が付きますか？

お問い合わせはこちらへ
小樽市産業港湾部観光振興室 日本遺産担当
小樽市港町4-3　TEL 0134-32-4111（内線 451）

北海道開拓と、建物、商人、能舞台



北海道開拓の玄関口として栄えた小樽は、港湾を中心に栄えました。人と物資と情報が小樽に集まり、商業施設や街並みが形成され発展しました。

1869(明治2)年、札幌に開拓使が設置されると小樽は北海道開拓の最も重要な港湾として位置づけられます。1880(明治13)年には、道内で最初の鉄道が手宮と札幌間に開通しました。
小樽港も整備され、1899(明治32)年には国際貿易港に指定されます。小樽は急速に発展し、繁栄の一途をたどりました。

金融のまち

世界経済に影響を与えた金融のまち

小樽に集まった商人に資金を提供するため、金融業も盛んになりました。色内の銀行街は、明治から大正時代にかけて中央の金融機関が進出したもので、最も多い時期で、その数は 20 を超え、北海道の金融界の中心地として重要な役割を果たしました。

著名な建築家による近代建築を調べてみよう

◎旧日本郵船（株）小樽支店、
（国指定重要文化財）
◎日本銀行旧小樽支店など、
（小樽市指定有形文化財）
◎旧三井銀行小樽支店
（小樽市指定有形文化財）

近代建築が数多く建てられました。

Check!

◎木骨石造
小樽に残る石造建造物の多くは木造の骨組みで、純粋な本石造は少数派です。

◎外壁は「札幌軟石」「小樽軟石」
耐火性能に優れており、倉庫や事務所などに採用されました。

Check!

建物

数多くの歴史的建造物が現存

- 漁家、倉庫、店舗、料亭、寺院、教会、銀行
当時の最先端の技術や洗練されたデザインが施され、優れた文化遺産として高く評価されています。

Check! 事前学習のチェックポイント

Think! 意見を出し合ってみんなで考えてみよう

小樽商人の心意気

経済だけではなく、政治、文化、まちづくりに影響を及ぼした実業家が数多くいました。彼らが残した住宅や倉庫などの建築物のほか、私財を投じて建てられた公共施設も多数あります。

Check!

「小樽市公会堂」
藤山要吉が皇太子行幸（のちの大正天皇）の宿泊所として建設、その後市へ寄贈しました。

「旧市立小樽中学校」
（現小樽市立長橋中学校）
板谷宮吉が土地と建設資金を寄付し創立しました。

「小樽商業高等学校」
（現小樽商科大学）
日本で５番目の国立高等商業学校で、商人たちの多額な寄付によって誘致競争を有利に進めました。

ガイド付き散策ツアーのお問い合わせはこちらへ

有限会社 小樽観光ネットワーク http://www.o-s-n.co.jp/
小樽市桜 5-21-46　TEL 0134-54-3280

小樽で能舞台

江戸幕府が定めた格式で道内唯一の能舞台「 能舞台」

豪商岡崎謙が 1926（大正 15）年に自宅中庭に建築したもので、氏の没後に市に寄附され、公会堂の移設に伴い、1961（昭和 36）年現在地へ移転されました。

Think!

◎現代での活用例を考えてみよう！

能楽体感ゼアミナール

内容応談・完全予約制（有料）

①能楽や能舞台に関するレクチャーの聴講
②鑑賞　③謡や舞、楽器の体験

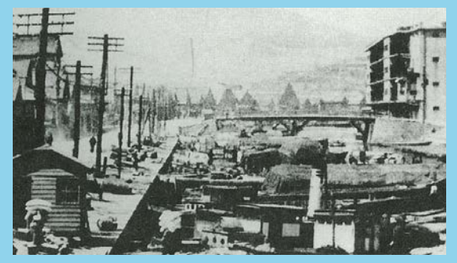
●時間／90 分より

小樽を商都として切り開いた先人の多くが、能楽を嗜んでいました。様々な体験メニューを通して、伝統芸能に触れることができます。

お問い合わせ先　旧岡崎家能舞台を生かす会
TEL 050-5334-8867

小樽運河と運河論争

小樽運河



小樽運河は、小樽港で取り扱う荷量が多くなったために建設されました。内陸を掘った一般的な運河と異なり、海岸線を埋め立てて造られているため埋め立て式運河と呼ばれます。ゆるやかに湾曲しているのが特徴です。
運河沿いに倉庫が立ち並び、海上で沖泊まりした大型船から積み荷を受け取った艀（はしけ）と呼ばれる運搬船が、荷物を運びました。

役目を終えた運河

戦後になると、港に埠頭が整備され、運河はその使命を終えます。運河周辺の重厚な木骨石造の倉庫群など歴史的建造物は数多く取り残されました。ヘドロとメタンガスの悪臭がひどくなり、大きな問題になりました。一方で、付近の国道における交通渋滞が悪化し、交通容量の拡大が課題となりました。

運河論争

1966（昭和 41）年、市内の交通渋滞緩和を図るため、6 車線化する計画が浮上、この計画には運河の埋立てと倉庫群の解体が伴っていました。周辺の歴史的建造物を含め、運河の保存に向けた市民活動が起こり、1973（昭和 48）年に「小樽運河を守る会」が設立しました。10 年以上に及ぶ議論が続きます、最終的に、運河の幅の半分を埋立てて道路とし、残りはポケットパークの配置や散策路を整備することで議論が決着し、1986（昭和 61）年に現在の小樽運河が完成ました。

Check!

★まちづくり運動が小樽の観光資源を発掘

◎北海道初の景観条例制定
◎全国的に注目を集めた観光都市へ
◎再生された小樽運河は観光名所に

歴史的建造物・産業遺産利活用

Check! 事前学習のチェックポイント

Think! 意見を出し合ってみんなで考えてみよう

小樽に現存する数多くの歴史的建造物

現在は様々な目的で利活用されています。

Check!

◎小樽に残る歴史的建造物とその活用を調べてみよう

・旧北海道拓殖銀行小樽支店
現 美術館

・旧岡川薬局
現 カフェ、宿泊施設

・旧三菱銀行小樽支店
現 バスターミナル

・旧渋澤倉庫
現 カフェ、ライブハウス

・旧木村倉庫
現 硝子店舗

・旧岡崎倉庫
現 酒蔵店

旧国鉄手宮線

産業遺産の活用

1880（明治 13）年 11 月 28 日に北海道初の鉄道として、官営幌内鉄道が手宮から札幌まで開通します。1906（明治 39）年には鉄道国有法により国有化され、1985（昭和 60）年には廃線となりました。その後も歴史的保全を重視しながら、オープンスペースの設備や遊歩道の整備も行われ、イベント会場としても活用されています。

Check!

◎小樽市総合博物館には、鉄道関連の建造物や展示も多数

https://www.city.otaru.lg.jp/simin/sisetu/museum/

ガイド付き散策ツアーのお問い合わせはこちらへ

有限会社 小樽観光ネットワーク http://www.o-s-n.co.jp/ 小樽市桜 5-21-46 TEL 0134-54-3280

Check! 事前学習のチェックポイント

Think! 意見を出し合ってみんなで考えてみよう

小樽の産業を知る

水

小樽の水

北海道の開拓が進み、経済の中心として小樽が発展していく中で、工業（ものづくり）も根付いていきます。その背景で大いに利用されたのが「小樽の水」です。

奥沢水源地

1914（大正 3）年に完成した小樽市の水道の発祥の地です。以降 100 年にわたって小樽の発展や市民の生活を支えてきました。
1985（昭和 60）年「近代水道百選」
2008（平成 20）年「土木学会選奨土木遺産」

ダムと浄水場

現在は市内 3 か所の浄水場で水道がつくられています。小樽市の水源の多くは河川水です。河川の上流には、汚染源となる工場などがなく、恵まれた自然が保たれています。

朝里ダムとオタルナイ湖

朝里ダム

1993（平成 5）年に完成し、オタルナイ湖として小樽市民の水がめとなっています。ダムに関する資料などが展示された朝里ダム記念館や公園もあります。

Check!

寒冷地の暮らしと水道

寒冷地用の不凍給水栓を製作

●工場見学／所要時間約 40 分

光合金製作所（株）
小樽市新光 5-9-6　TEL0134-65-0000

Check!

水が家庭や学校に届くまで

ダムと浄水場

①ダムや川の水が浄水場へ
②浄水場で安全な水道水を作成
③水道水は配水池へ、そして市内に給水

ボトルドウォーター「小樽の水」を販売

小樽の水は、恵まれた自然環境の中で育まれ、炭酸ガスや酸素などがほどよく溶けていることなどから清涼感があります。そして、ミネラルがバランスよく含まれ、口当たりが良いため、おいしいと言われています。

小樽の産業を知る

硝子

小樽のガラス

はじまりは、「石油ランプ」と「浮き玉」

- 1890 年頃（明治中期）の北海道は開拓の玄関口や国際貿易の拠点として発展してきたものの、電気の普及が追いついていませんでした。かわりにガラス製の石油ランプが、各家庭での「あかり」として必需品でした。
- 小樽は漁業も盛んで、特に明治から大正にかけてはニシン漁の全盛期でした。当時は漁具としてガラス製の浮き玉を使用していました。

時代の流れとともに

石油ランプは電気に変わり、浮き玉は漁業の衰退とプラスチック製品の開発で、ガラス業も斜陽化

電気やプラスチック製品が開発され、漁業は衰退し、ガラス業は斜陽化します。ところが、それまで「使うだけのもの」だったガラス製品を見直したことから「小樽のガラス」がまちのイメージとして定着し始めます。デザインにこだわり、ぬくもりや安らぎのあるものが生み出されました。様々な技法を生かした個性豊かなガラス工芸は小樽の文化ともいえます。

Check!

硝子の販売

北一硝子

1970 年代、かつては生活必需品だった石油ランプを販売したところ、観光客を中心に評判となり、さまざまなガラス製品の販売をしました。1983（昭和 58）年に開店した北一硝子三号館は、市内に数多く残されている歴史的な建造物を再利用・保存し、利活用の先導的な役割を果たしました。その後、三号館のある堺町周辺には店舗が集積し、現在では重要な観光拠点となっています。

北一硝子 三号館
小樽市堺町 7-26　TEL0134-33-1993

Check!

硝子の製造

ザ・グラス・スタジオ イン オタル

1979 年（昭和 54 年）に、小樽市緑町にて工房を開設。その後 1987 年（昭和 62 年）に、現在工房をかまえる天狗山山麓に移転オープンしました。制作過程を公開、製作体験や工房での作品販売などを展開。個性豊かな工房が小樽の街に次々と誕生するきっかけを作りました。今では市内には 10 を超える工房があります。

ザ・グラス・スタジオ イン オタル
小樽市最上 2-16-16　TEL0134-33-9390

小樽の産業を知る 工場見学

ものづくりの現場の歴史や人、設備が見える工場見学では、
ものづくり産業の魅力を知ることができます。
食品加工や工芸品など、小樽には様々な工場があり、
見学コースを整えているところも少なくありません。

小樽ビール 醸造所見学

ドイツビールの伝統的な製法で醸造する小樽ビール。
その醸造方法や優れた設備をご紹介。

●小樽倉庫 No.1 醸造所見学　約 20 分／無料
●銭函醸造所見学　90 分～／有料

小樽倉庫 No.1　小樽市港町 5-4　TEL0134-21-2323
銭函醸造所　小樽市銭函 3-263-19　TEL0134-61-2280
URL https://otaru-aq.jp

かま栄 かまぼこ製造工場見学

明治38年創業、北海道を代表する老舗かまぼこ店。ガラス越しに最新の設備と伝統の職人技を自由に見学できます。

●かまぼこ製造工場見学　約10分／無料

㈱かま栄 工場直売店　小樽市堺町 3-7　TEL0134-25-6181
URL https://www.kamaei.co.jp/kengaku/

田中酒造 亀甲蔵（きっこうぐら） 製造場見学

天狗山の伏流水を汲み上げ、仕込み水として使用している小樽唯一の日本酒造り酒屋。日本酒の仕込みの様子を見学できます。

●製造場見学　約 15 分／無料

田中酒造(株) 亀甲蔵　小樽市信香町 2-2　TEL0134-21-2390
URL https://tanakashuzo.com/

北海道ワイン 醸造所ガイドツアー

葡萄栽培からワインができるまでの工程について
学ぶことができます。

●醸造所ガイドツアー　約 60 分／有料
（テイスティング付き ※未成年の方にはジュースのご対応となります）

北海道ワイン㈱　小樽市朝里川温泉 1-130　TEL0134-34-2187
URL https://www.hokkaidowine.com/index.html

深川硝子工芸 工場見学

職人の手によって制作される
小樽硝子・小樽切子の製造工程を見学できます。

●ガラス製作工場見学　無料

㈱深川硝子工芸　小樽市有幌町 2-3　TEL0134-31-3002
URL https://fukagawaglass.co.jp/factorytour/

第一ゴム ゴム長靴製造工場見学

昭和 10 年創業のゴム長靴専業メーカーです。小樽には昭和初期およそ 15 のゴム工場が操業しており、最盛期、全国に流通する長靴の1割を小樽で生産していました。
現在、国内に流通する長靴の98% は外国製品ですが、第一ゴムは今も原料の天然ゴムから手づくりで、ゴム長靴を生産しております。

●ゴム長靴製造工場見学　約 40 分／無料

第一ゴム㈱　小樽市奥沢 3-29-32　TEL0134-22-5161
URL http://www.daiichi-gomu.co.jp/

自然体験 小樽の山と海

歴史ある小樽の絶景、そして大自然のなかでの散策体験!

ロープウェイで約４分の空中散歩。その先の展望台から眼下に広がる小樽の景色は、その街がつくられた歴史をも感じさせます。すぐそばの散策路では、森林浴をしながら野鳥観察も体験できますよ！

お問い合わせはこちらへ

小樽天狗山ロープウェイ
小樽市最上 2-16-15　TEL0134-33-7381
URL https://tenguyama.ckk.chuo-bus.co.jp/

キャンプ場、宿泊研修の宿

バンガロー、常設テントを有する「野営場」は「飯盒炊爨（はんごうすいさん）」、「天狗山登山」、「キャンプファイヤー」などのキャンプ体験、最大宿泊１６０名可能な「おこばち山荘」では、宿泊体験を通し、校外活動を身をもって学習できます。

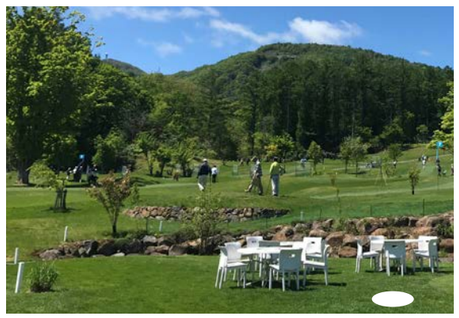
お問い合わせはこちらへ

おたる自然の村
小樽市天狗山１丁目国有林野 4152 林班
TEL0134-25-1701
URL http://shizennomura.com/

小樽の自然とパークゴルフ体験

北海道発祥のパークゴルフは、誰でも手軽にできるスポーツとして人気があります。自然あふれる美しい景観、鳥のさえずりや小川のせせらぎを聞きながらプレイできます。

※ジンギスカンセット手配可能
※教育旅行利用では一部のコース貸し切りで対応します



お問い合わせはこちらへ

小樽グリーンパーク
小樽市朝里川温泉 1-86　TEL 0134-61-7101
URL http://pgnet.jp/golf/

運河と港をめぐり、港湾都市小樽を学ぶ

小樽運河を約 40 分かけて、ゆっくりと周遊

北海道経済の中心となったかつての小樽で使われていた積み荷運搬の仕組み、水路や倉庫、現在の利活用などを学びます。

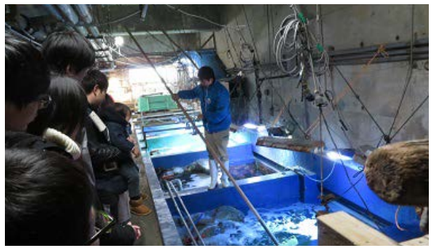
出航 ➡ 石造り倉庫群 ➡ 小樽港 ➡ 官庁船 ➡ 北運河 ➡ 艀 ➡ 日本郵船 ➡ 北海製罐 ➡ 旧小樽倉庫 ➡ 浅草橋街園 ➡ 帰航

お問い合わせはこちらへ

小樽カナルボート
小樽市港町 5-4　TEL 0134-31-1733
URL http://otaru.cc

おたる水族館 バックヤードツアー

おたる水族館の動物たちは、自然に近い環境で生活し、生きるエネルギーに満ちあふれています。大人気のショーの他にも見所がたくさんあります。バックヤードツアーでは、普段見ることのできない “水槽の裏側” を 飼育係がご案内します。



お問い合わせはこちらへ

おたる水族館
小樽市祝津 3-303　TEL 0134-33-1400
URL https://otaru-aq.jp

小樽海上観光船／小樽屋形船

海から眺める景色には、学習要素がたくさんあります。屋形船（貸し切り）ご利用の際には、おたる案内人が乗船し、小樽や港の歴史について船内でガイドします。

お問い合わせはこちらへ

小樽観光振興公社
小樽市港町 4-2　TEL 0134-29-3131
URL https://otaru-kankousen.jp

自然体験

小樽の冬

小樽の冬体験プログラム

除雪体験

北国の冬の生活を実感していただくため、朝里川温泉近郊で除雪が体験できます。スコップで雪をかいたり、積んだり、ソリで運んだりします。タイミングが合えば、除雪車の作業風景も見学できます。

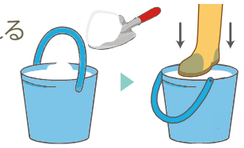
「小樽雪あかりの路」体験

小樽の冬の代表的イベント「小樽雪あかりの路」に参加し、キャンドルづくりやミニ雪像づくりなどを体験します。ロウソクの灯が醸し出す美しい北国のイベントへの参加と体験をセットにしたプログラムです。

スノーキャンドルを作ろう

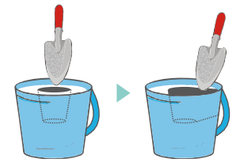
①バケツに雪を入れる

バケツに雪を入れ、こぶしや足を使ってしっかり固めます。



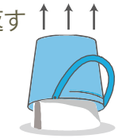
②キャンドルを入れる穴

キャンドルを入れる縦穴、横穴を作るためショベルを使って雪をけずり出します。



③バケツをひっくり返す

まわりを軽くたたいて、バケツをゆっくり持ち上げます。



④完成

キャンドルを入れて点灯します。

体験施設

ウィンケルビレッジ

小樽市朝里川温泉２丁目686

TEL 0800-800-3074

スキー修学旅行

日本ではじめて日本公式の全国大会が開かれたことから、小樽はスキーのまちともいわれています。
雪質も良く、多くのスキー選手を輩出してきました。
スキーやスノーボード以外にも、手軽に楽しめる冬ならではの遊びもたくさんあります。

小樽天狗山スキー場

小樽のシンボル的な存在のスキー場で、山頂から眼下に箱庭のような市街と、小樽港や石狩湾等が一望できます。市街から車で 15 分ほどです。

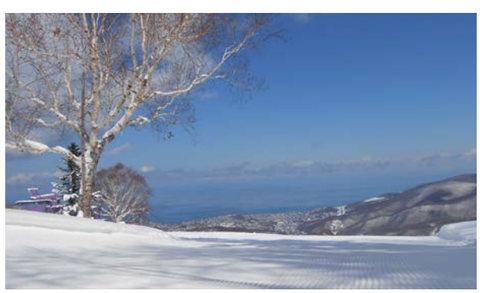
小樽天狗山スキー場

小樽市最上 2-16-15　TEL0134-33-7381

URL https://tenguyama.ckk.chuo-bus.co.jp/

朝里川温泉スキー場

朝里川温泉地区にあるスキー場でゲレンデから望むダイナミックな日本海の眺めと、フワフワのパウダースノーが満喫できます。高速道路のインターチェンジから車で 5 分ほどです。



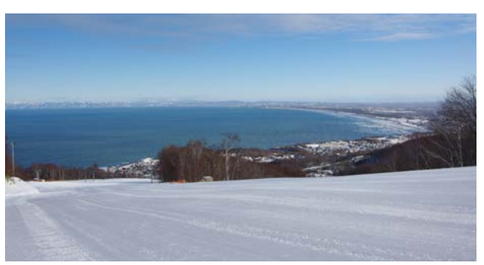
朝里川温泉スキー場

小樽市朝里川温泉１丁目 394　TEL 0134-54-0101

URL https://asari-ski.com/

スノークルーズオーンズ

小樽と札幌の中間に位置する銭函エリアのオーンズスキー場。日本海を間近に望みながら滑ることでき、国道から約 300m、札樽自動車道銭函 IC から約 10 分と、札幌からのアクセスも便利なス キー場です。



スノークルーズオーンズ

小樽市春香町 357　TEL 0134-62-2228

URL http://onze.jp/

北海道の冬を楽しむ スノーシュー・スキーシュー体験

長い冬を楽しむためのウィンタースポーツはスキーやスノーボードだけではありません。かんじきのように深い雪の上を歩けるスノーシューや、長靴ではけるスキーシューで真っ白な大自然へ飛び出そう！

ウィンケルビレッジ

小樽市朝里川温泉２丁目686　TEL 0800-800-3074

URL http://www.winkel.co.jp/enjoy

ニシンの里で食を学ぶ

**明治時代には、「親方」と呼ばれる多くの漁業家が誕生しました。
中でも白鳥家、青山家、茨木家は祝津御三家といわれています。
この御三家にゆかりのある建物は、現存しています。**

祝津とニシンの歴史を学びながら、ニシン料理にチャレンジしましょう。

【三平汁】
北海道の郷土料理で、200 年以上も前から食べられていました。冷蔵庫の無い時代、魚は塩漬けにして保存していました。それを大根やニンジンなどの野菜と煮込みます。味付けは、魚について塩だけでした。長い冬を過ごすための北国の知恵や、食べることを大切にした昔の人の工夫を知ることができます。

会場／茨木家中出張番屋

茨木家の初代與八郎によって、明治後期に建てられた鰊番屋です。

タイムスケジュール 例

10:00／集合、講話
11:00／調理実習（三平汁等）
12:00／食事
13:00／終了

お問い合わせはこちらへ

NPO 法人 おたる祝津たなげ会
http://tanage.jp/
小樽市祝津３丁目303　TEL 0134-33-1400

Check! 事前学習のチェックポイント　Think! 意見を出し合ってみんなで考えてみよう

餅屋や菓子屋も多かった小樽

明治初期の開拓の時代から小樽は、北海道の海の玄関口として発展し、たくさんの人や物資が行き交うにぎやかな港町でした。

この港町小樽には、海産物をはじめ、大豆・小豆・砂糖（甜菜糖）などの農産物も北海道から本州に送り出す物資として集まってきました。

「米」「砂糖」「小豆」と、餅づくりの原材料が入手しやすかったことが、小樽には餅屋や菓子屋が多い要因のひとつと言われています。

当時の小樽には、石炭を運ぶための鉄道が敷かれ、小樽運河の建設も進み、港にはたくさんの労働者がいました。手早くエネルギーが補給でき、腹もちもよく、保存が効いたことなどもあり、港湾労働者に好んで食べられていたとも言われています。

また、古くから栄えた小樽は、お寺や神社が多く、お祝い事やお祭り、冠婚葬祭など、餅の需要も高く、餅屋が増えていったという説もあります。

Check!

◎小樽の餅のルーツや現存する小樽の餅屋、和菓子屋を調べてみよう

北後志の自然の恵み 収穫体験

食の原点である「作る」「収穫する」「食べる」。
農業体験を通してそれらを学び、「食育」を実践します。

Check! 事前学習のチェックポイント　Think! 意見を出し合ってみんなで考えてみよう

Check!

◎北海道の自然の中での生活を創造し、「与えられる」生活から「自分で生み出す」ことの大切さを学ぼう

余市町や仁木町、赤井川村の農家で、野菜や果物の管理作業・収穫などの農業体験をした後、収穫した野菜や果物を使って調理実習を行います。ただ調理するのではなく、この地域の農業の歴史や、果物等の栽培技術の進歩など、地元の方の話を交えながら、「食」に対する理解や興味を深めます。

農業体験

A 果物収穫体験（体験場所／余市町・仁木町各果樹農園）

いちご狩り
【収穫時期】
6月上旬～7月下旬

さくらんぼ狩り
【収穫時期】
6月下旬～8月上旬

ブルーベリー狩り
【収穫時期】
7月中旬～8月下旬

ぶどう狩り
【収穫時期】
9月上旬～10月下旬

プルーン狩り
【収穫時期】
8月中旬～10月中旬

りんご狩り
【収穫時期】
9月上旬～11月上旬

※収穫時期は天候に左右されますので、ご了承ください。

フルーツカレンダー

対象果物狩り	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
いちご狩り		■	■				
さくらんぼ狩り		■	■				
ブルーベリー狩り			■	■	■		
もも狩り				■	■		
プルーン狩り				■	■	■	
なし狩り					■	■	
ぶどう狩り					■	■	
りんご狩り					■	■	■

※ハウス栽培の果物は収穫時期が早まる

B 果物管理作業体験（体験場所／余市町・仁木町各果樹農園）

ぶどうの岐穂摘除（かた房もぎ）作業

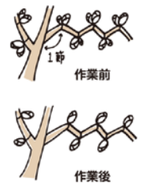
期間／5月下旬～6月中旬
所要時間／60分（内 説明20分、移動10分、作業30分）

■作業内容
　ぶどうのかた房と言われる部分をハサミで切り取ります。
■作業理由
　かた房をつけたままですと、かた房は熟期が遅く、また本房の糖度が上がりづらく商品価値を落とす原因を作ります。

ぶどうの摘芽（芽かき）作業

期間／5月上旬～5月中旬
所要時間／60分（内 説明20分、移動10分、作業30分）

■作業内容
　1節ごとに大小2芽があり、この中から大きく丈夫な芽を選び、1節ごとに1芽残す作業です。
■作業理由
　たくさん芽を付けたまま放置すると枝が多くなり結実過多になります。枝が混み合うことにより日照不足となり、房は小さく糖度もなく、またその後の樹体に大きな影響を与えることとなります。
　商品価値の高い健全な実をつけるための作業の1つとして重要な作業です。



果実（りんご・なし）の摘果作業

期間／6月上旬～6月下旬
所要時間／60分（内 説明20分、移動10分、作業30分）

■作業内容
　中心果と側果の中で一番大きなものを選び、1果を残しその他はハサミで切り取ります。
■作業理由
　1果を育てるには、葉数が50枚くらい必要です。摘果作業をしなければ、たくさん実はつきますが、小玉で商品価値はなく、しかも樹体に負担がかかり、翌年には実が着かなくなります。
　摘果作業により、必要葉数を確保し、毎年大玉でおいしいりんごを収穫する事ができる訳です。作業の中で最も重要な作業です。

果実（りんご・なし）の摘花作業

期間／5月下旬～6月中旬
所要時間／60分（内 説明20分、移動10分、作業30分）

■作業内容
　中心花と側花の中で一番大きなものを選び、2花を残しその他はハサミで切り取ります。
■作業理由
　開花は樹体に多くの負担をかけるので、摘花作業をすることにより負担の軽減につながるのと果実の肥大化のために重要な作業です。

※北海道の気候により、管理作業の内容が変わる場合があります。

C 野菜・水田収穫・作付け・管理作業体験

体験内容	期　間	休　み	所要時間	料　金	お問い合わせ
トマトの脇芽取り	6月中旬～7月中旬	土･日･祝	60分～120分	500～700円	仁木町観光協会
水田管理作業･田植え他	5月～10月			500円～	
稲刈り作業体験	9月～10月				
とうきび収穫	8月上旬～			お問い合わせ	

体験内容	期　間	所要時間	最少催行人員	最大催行人員	予約	体験内容	お問い合わせ
じゃがいもの作付け体験	5月10日～25日まで	約30分	20名	200名	要	じゃがいもを自分の手で作付けします。9月中旬の収穫後に学校にお送りします。	キロロリゾート
とうもろこしの作付け体験	6月1日～20日まで	約30分	20名	200名	要	とうもろこしを自分の手で作付けします。9月中旬の収穫後に学校にお送りします。	
植樹体験	6月･7月･8月	約1～2時間	20名	400名	要	「エコ企画」植林･植樹によりCO_2削減に貢献します。キロロの森又はダム公園にて実施します。	
秋のじゃがいも収穫試食体験	9月1日～9月中旬まで	約30分	20名	200名	要	じゃがいもの収穫体験です。ほくほくじゃがバターを試食します。じゃがいも2kgのお土産付きです。	

キロロ自然体験プログラム

体験内容	期　間	所要時間	最少催行人員	最大催行人員	予約	体験内容	お問い合わせ
ゴンドラで行く1,180mの「雪見」体験	4月初旬～ 5月下旬	約50分	100名	なし	要	標高1,180mの朝里岳山頂にゴンドラで登り、雄大な景色と共に残雪の風景を楽しみます。	キロロリゾート
朝里岳ゴンドラ登頂	7月初旬～10月中旬	約1時間	100名	なし	要	標高1,180mの朝里岳山頂に登り、雄大な景色を堪能します。日本海･ニセコ連峰等が見渡せます。	
キロロの森トレッキングツアー	6月中旬～10月中旬	約1～4時間	ガイド1名につき10～20名		要	北海道の雄大な自然をトレッキングを通じて体験いただけます。周辺の森や滝などをご覧いただきながら、スタッフが同行しご案内いたします。	

お問い合わせはこちらへ

仁木町
対象：小学生・中学生・高校生　　所要時間：60分～
受付人数／期間／料金：内容により異なります。お問い合わせください。
一般社団法人 仁木町観光協会
仁木町観光総合案内所・にきiセンター
余市郡仁木町北町8-17　TEL 0135-32-2711

余市町
山本観光果樹園
余市郡余市町登町1102-5　TEL 0135-23-6251

キロロ
キロロリゾート
赤井川村常磐128番地1　TEL 0135-34-7111

小樽でものづくり体験

小樽職人の会 製作体験

小樽で作る、職人と作る

開拓期、小樽は北海道経済の中心地であり、
最先端の技術が集まる国内有数の都市でした。
そこには、優れた技術を持つ職人が多数存在しました。
小樽職人の会は、その系譜を継ぐ者たちの集団です。

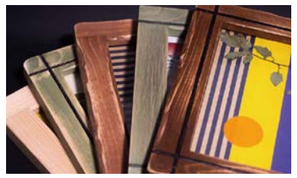
POINT

- **ものづくりの原点である“折る、切る、曲げる”道具を用いながら、手先・指先を使う作業で、作ることの楽しさを体感！**
- **今も手しごとでもの作りにこだわっている職人が講師！伝統の技を受け継ぐ職人と一緒に作業をしたり、異世代との交流を楽しみながら、新たな発見を味わうことができます！**

●白磁マグネット絵付け
チャイナペイントという技法を用いて、丸い白磁に特殊な絵の具で色をのせ、窯で焼き上げます。

●夢を灯すキャンドル作り
ハートや星など、さまざまな形や色の蝋を自由に選んで組み合わせ、モザイクキャンドルを作ります。

●鋳物で作る錫の飾りのキーホルダー
特殊な砂を突き固めて作った型に約300℃に溶かした錫を流し込み、キーホルダーを作ります。運河のガス燈の鋳造技術を体験できます。



●木工クラフト オリジナルフォトフレーム
木材を使ってフレームを作ります。木工職人の指導のもと、木肌の感触や自然の温もりに触れることができます。

●伝統が見える家紋の刷込み
日本古来の紋章である「家紋」についての講義とともに、家紋の刷り込み・書き紋などの職人の技を用いて、オリジナルの扇子を作ります。

●「創意・工夫」純銀の指輪づくり
デザインリングの制作過程を体験します。完成品は、ペンダントやリングとして使うことができます。

●伝統の上生菓子づくり
「練り切り餡」を使って、伝統的な和菓子を作ります。作って楽しい、見て楽しい、食べておいしい体験です。

●美しい輝きの金箔貼りの箸づくり
本漆で仕上げられた塗り箸に、金箔で自由に模様を施し、オリジナルの箸に仕上げます。金箔仏壇の制作職人が講師です。

●落款彫刻（篆刻）
中国の宋・明から江戸時代に伝えられ、芸術家たちの間で大ブームとなった篆刻を体験します。天然石の蝋石に、自分の名前を篆書体にして彫ります。

●洗い染めの技　染物体験
和服の再生加工では、全国でも指折りの技術を持つ職人を講師に、染色技法の制作を体験します。

●ステンドグラスのオーナメント
きな色のガラスパーツを選び、はんだごてを使って接合し、ステンドグラスのオーナメントを作ります。

●竹で作るコースター
室町時代から受け継がれる伝統工芸「別府竹細工」の技法でコースターを作ります。竹の優しい手触りや温もりを感じることができます。

お問い合わせはこちらへ

小樽職人の会　TEL0134-33-2339

ガラス製作体験

ガラスのまち小樽には、たくさんのガラス工房があり、それぞれ特徴あるガラス工芸品を製作しています。製作体験では、原料や素材が変化し、製品に変わっていく面白さやものづくりの楽しさを実感できます。制作にかかわる職人の仕事の一端を理解することで、ものづくりの職業への理解を深めます。

●吹きガラス
熱いガラスを吹いてグラス、ジョッキ、浮き玉などを作成します。
色や形、模様などもコースによってさまざまです。

●とんぼ玉
ガラスの棒をガスバーナーで溶かし、
巻きつけて丸い玉を作ります。
ストラップやアクセサリーに加工する体験もあります。

●サンドブラスト
ガラスの板の上に小さなガラスのビーズを並べて溶かし、
アクセサリーや箸置きなどを作成します。

●ステンドグラス
着色ガラスの小片を結合して、絵や模様を描く体験です。

オルゴール製作体験

●トッピングフリーコース
オルゴールベースの種類や曲目、飾り付ける小物をその場で選び、接着剤を使って自分だけのオルゴールを作る制作体験です。

●ムーブメント組み立て
オルゴールムーブメントをパーツから組み立てる本格コースです。
組立てたメカはボックスかフレームに組込みます。
※中学生以上対象

**体験メニューは
ほかにもあります！**

- ●ステンドグラス制作 体験
- ●フュージング制作体験
- ●サンドブラスト制作体験
- ●押し花制作体験

お問い合わせはこちらへ

一般社団法人小樽観光協会
小樽市港町4-3　TEL0134-33-2510

自分の未来を考える

インターンシップ

観光都市・小樽

観光や物産関連産業のインターンシップを通じて、
観光の意義や仕事の大切さについて学ぶとともに、
各施設の担当者と触れ合うことで、小樽の歴史や文化、
自然など四季折々の地域の特徴を体感することができます。

中小企業の多い小樽

中小企業の多い小樽でのインターンシップは、
一人ひとりの社員の能力が経営に
どのように活かされるかがポイントにです。
社員のひとりとなった時の自分の役割は何かを
イメージする機会ともなりうるでしょう。

●職場体験 コーディネートの手順

①ヒアリング
②インターンシップ企画案の作成
③生徒のインターンシップ希望
④受け入れ事業者のコーディネート
⑤インターンシップの実施

●職場体験の その他の形態

①職場、工場見学
・生徒からの取材インタビュー
②職業人講話
・小樽の職業人が講師となり
1時間程度の講演を行う

お問い合わせはこちらへ

■北海道知事登録旅行業第2-346 札幌航空旅行株式会社 ■旅行業者代理業北海道知事登録127号

DCTツーリスト（株）Dream Come True

小樽市稲穂1丁目8-13　TEL 0134-34-1811

自己啓発

印探索と 自分印キーホルダー

印（しるし）は、
現在のマークの前身と位置付けられます。
馬印や旗印として武士階級に始まり、
火消し職人などに見られる印半纏があり、
特に江戸時代には苗字を許されなかった
商人階級に多く普及していきました。
商人階級には「越後屋」「高田屋」「紀伊国屋」
などのような屋号も使われていましたが、
多くの商人は「カネイ」「ヤマサ」などの
印を掲げていました。
小樽は、商業で大発展を遂げた地域で、
多くの印が使われ、
小樽に多く残る石造倉庫や石蔵には、
その正面に印が掲げられています。

北一硝子：きたいち

（倉庫）：やましち

（倉庫）：やまなか

（倉庫）：いちぜんばし

●事前学習：印の起源と派生、
小樽に印の多い理由
●フィールドワーク：印の読み、由来
●自分印の創作＝学びのテーマ：
自分探し（物語性、柔軟性、総合性）

中学生女性の作品
「スマイル」
自分の名前のイニシャルを目にあて笑顔にデザイン

中学生男性の作品
「サカユウ」
苗字に使用している「結」の文字をサッカーで結ばれた仲間を大事にするデザイン

中学生男性の作品
「オモグラ」
感情量が豊かで思いのバランスをとるのにいつも苦労していることをデザイン

中学生女性の作品
「マルブン」
名前に使用している「文」の文字をひたむきに歩くスタイルにしたデザイン

お問い合わせはこちらへ

有限会社 小樽観光ネットワーク http://www.o-s-n.co.jp/

小樽市桜5-21-46　TEL 0134-54-3280

小樽商科大学キャンパスツアー

大学ってどんなところ？

小樽商科大学では、高校生や受験生の皆さんに
「大学とはどんなところか？」を知ってもらうために、
大学紹介、模擬講義、学食体験や施設見学等を
実施しております。
模擬講義は高校生のみなさんにも
分かり易い内容のものとなっておりますし、
豊富な学食メニューなども体験できます。

●大学紹介　●施設見学
●学食体験（実費をいただきます）
●模擬講義　●授業見学

※学習内容につきましては、上記のメニューの中より実施可能なモノをご相談の上、スケジュールを組ませていただきます。

お問い合わせはこちらへ

小樽商科大学 教務課入試室入学試験係

https://nyushi.otaru-uc.ac.jp

小樽市緑3丁目5番21号　TEL 0134-27-5254

出前講座 一覧

なるほ堂 出前講座

小樽講座

プログラム

①小樽運河ってな-に？
②小樽運河が有名になったのはなぜ？
③小樽が観光地になったのはいつ？
④小樽が観光地になったのはなぜ？
⑤小樽がかつて発展したのはなぜ？
⑥鰊が小樽発展に役だったのはなぜ？
⑦小樽に石造り倉庫があるのはなぜ？
⑧小樽に石蔵がたくさんあるのはなぜ？
⑨小樽に近代建築がたくさんあるのはなぜ？
⑩小樽にたくさんある歴史的建造物が再活用されているのはなぜ？
⑪小樽に早くから鉄道は敷かれたのはなぜ？
⑫小樽人気質って？
⑬小樽にはどうして観光客が来るの？
⑭色内界隈
⑮旧寿原邸
⑯高橋直治＆板谷宮吉
⑰水天宮
⑱花園の商店街界隈
⑲駅前の商店街界隈
⑳語り部ってな-に？

時間：1講座約30分を4講座　計2時間
方法：パワーポイントにてスクリーン解説

お問い合わせはこちらへ
なるほ堂主宰　石井 伸和
Mail：ipi-ishii@par.odn.ne.jp　TEL 080-3156-8484

NPO法人 歴史文化研究所 出前講座

プログラム

駒木定正建築史研究所 主宰
駒木 定正
①小樽の歴史的建造物
②公会堂と小樽の和風建築
③日本銀行小樽支店と銀行街

小樽市総合博物館 館長
石川 直章
①小樽の古代史
②小樽人気質の歴史的系譜
③小樽の近代史

まち文化研究所 主宰
塚田 敏信
①小樽の銭湯文化
②小樽の市場
③小樽の菓子

余市町水産博物館 館長
浅野 敏昭
①積丹半島沿岸のニシン漁の歴史と地域のなりたち
②小樽市のニシン漁の歴史と地域のなりたち

NPO法人歴史文化研究所 副代表理事
石井 伸和
①小樽の総合史
②小樽と北前船と商人
③小樽運河保存運動とまちづくり観光
④小樽の歴史的資源

時間：講座90分＋質疑応答30分　計2時間
方法：講師によってパワーポイント使用

お問い合わせはこちらへ
NPO法人歴史文化研究所　石井 伸和
Mail：ipi-ishii@par.odn.ne.jp　TEL 080-3156-8484

学習素材が豊富で、自主研修に最適な街

テーマを設定

小樽は「屋根のない博物館」とも言われます。
様々な歴史的遺産が形をとどめ、
今では観光の目玉として小樽を特徴づけています。

**港町の歴史を学ぶまち、
建物旧問屋街が
観光のメインストリートに
生まれ変わったまち**

①小樽運河を調べよう
②小樽の鉄道を調べよう
③小樽とニシンの関係を調べよう
④石造倉庫があるのはなぜ？
⑤近代建築がこんなにあるのはなぜ？
⑥古建築がビルにならないのはなぜ？
⑦小樽が観光地になったのはなぜ？
⑧小樽人気質って？
⑨小樽の産品を調べよう
⑩小樽のガラスを調べよう

小樽のデザインを見る

街にある様々な意匠を探索し、秘められた願いや意味を探ります

○メルヘン広場／常夜灯
○旧名取高三郎商店／うだつ
○日本銀行旧小樽支店金融資料館／フクロウ
○松田ビル／ブラケット
○運河プラザ／シャチホコ
○運河散策路／石畳
○消火栓

こんなテーマも

小樽の風景を撮る

どこを撮っても絵になると言われるフォトジェニックなまち小樽。カメラ撮影を通じて、“自分が伝えたいもの”を深めます。四角いフレームの中で、何を表現しますか？撮影後は、お互いに講評してみましょう。

お役立ち情報

自分だけマップ

事前のルートづくり、自主研修後のまとめに便利な白地図をご用意

お問い合わせ先 一般社団法人小樽観光協会
TEL 0134-33-2510

ミールクーポン

指定された飲食店（約13店）にて、
1000円（税込）のランチをご提供

お問い合わせ先 小樽観光ネットワーク
TEL 0134-54-3280

レンタサイクル

小樽市内を散策、移動する場合、
レンタサイクルも便利！

検索：小樽 レンタサイクル

学生さんウェルカム！

**飲食店、土産店等
修学旅行生のお買い物を割引する
お店が多数あります**

小樽後志への修学旅行をご検討されている学校の先生や旅行業者の皆様へ、安心して小樽市へお越し頂けますようにお手伝いをさせていただきます。

本ガイドブック掲載内容は、各種教育旅行の参考資料としてご利用の上、具体的な事柄については、ご遠慮なくお問い合わせください。

また、ガイドブック掲載の内容以外でも、ご要望を伺った上で、可能な範囲内ですが、コーディネートのお手伝いを承っております。

事例紹介

以下のようなご要望のコーディネートを承りました

学生が地元の商店街と連携し、イベントを行う予定になっている。小樽市内の商店街で、同じような事例があれば、紹介してほしい。地元の商店街の方、イベント関係者、あるいは地元学生の話を聞きたい。

英語科の学生のために、通訳案内士を手配して、全編英語の観光散策ツアーを実施してほしい。

進路をどうするか考えているタイミングの学生に向けて、公務員の方からお話をしてほしい。

担当教員が事前に現地視察に行く際に、小樽市内各所を案内してほしい。

お問い合わせはこちらへ

一般社団法人小樽観光協会

〒047-0007 小樽市港町 4-3　TEL0134-33-2510　FAX0134-23-0522　info2007@otaru.gr.jp

学びのたね

小樽関連書籍のご案内

調べる

- 「おたる案内人　検定試験公式テキストブック」（小樽観光大学校）
- 「小樽蔵めぐりイラスト帖」今村敏明（北海道新聞社）
- 「小樽　小林多喜二を歩く」小樽多喜二祭実行委員会（新日本出版社）
- 「小樽散歩案内　新版」（ウィルダネス）
- 「おたるしりべし旅日記」北海道新聞小樽支社報道部（北海道新聞社）
- 「おたる水族館楽しい仲間たち」（北海道新聞社）
- 「小樽市総合博物館　公式ガイドブック」（ウィルダネス）
- 「小樽たてもの散歩」（小樽再生フォーラム）
- 「風のごとくに　小樽の啄木」（小樽啄木会）
- 「写真で辿る小樽〜明治・大正・昭和〜」佐藤圭樹（北海道新聞社）
- 「地図で楽しむすごい北海道」都道府県研究会（洋泉社）
- 「ニッポンを解剖する！北海道図鑑」（JTB パブリッシング）
- 「プラタモリ⑤」（角川書店）
- 「矢島さとしのまるごと北海道みやげの歴史」矢島睿（中西出版）
- 「北海道遺産読本」（北海道新聞社）

読む

- 「赤いペン」「ローズさん」澤井美穂（フレーベル館）
- 「一葉のめがね」「鴎外のやかん」高山美香（猫の事務所）
- 「シャインロード」升井純子（講談社）
- 「消防犬ぶん公」水口忠（文溪堂）
- 「はるか、ノスタルジィ―失われた、時を求めて」山中恒（講談社）
- 「ぼくは朝日」朝倉かすみ（潮出版社）
- 「ほっかいどうむかしあったとさ［道央編］」坪谷京子（共同文化社）
- 「雪のぬくもり」大崎かず子（日本児童文学者協会北海道支部）